

もてぎJoy耐チャレンジ
参加者および関係者 各位

もてぎJoy耐チャレンジ
大会事務局

2022もてぎJoy耐チャレンジ 特別規則の追加

標記の件、2022もてぎJoy耐チャレンジ特別規則について以下の 下線部分 を追加する。

記

【第24条 参加車両規定】

～1)参加車両

自然吸気エンジンを搭載した気筒容積 661cc 以上 2000cc 以下の車両(ディーゼル車両を除く)で、JAF 国内競技規則細則 自動車登録番号標付車両によるレース開催規定 第 2 条参加車両 1.および 2.に準じた車両とする。また上記に加え第 9 条にて定めたクラス毎において、以下に定める規定に準じた車両でなければならない。

①ALL Others クラス

本条～1)に準じている②ならびに⑥以外の車両。

②Vitz クラス

TOYOTA ヴィッツ「RS Racing」車両型式(NCP131-VPNTMV)および「Vitz GR SPORTS“Racing Package”」(車両型式 NCP131-VPNTMV/NCP131-VPNTXV)とし「TOYOTAGAZOO Racing Netz Cup Vitz Race 2020」規定に準じた車両。

③86/BRZ クラス

TOYOTA 86「86Racing」(車両型式 ZN6-VPNT8*)および SUBARU BRZ「RA Racing」(車両型式 ZC6*288)とし、「TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race 2021」規定に準じた車両。

④ロードスタークラス

ND(車両型式:ND5RC)ロードスターNR-A、NC(車両型式:NCEC)ロードスターNR-Aとし、ロードスター・パーティレースⅢ規定に準じた車両。※なおブレーキパッドについては自由とする。

⑤Lotusクラス

エルシーアイ株式会社が定める「LOTUS CUP JAPAN 2022 SportingRegulation」および「LOTUSCUP JAPAN2022 TechnicalRegulation」に準じた車両。

⑥Yaris クラス

TOYOTA「Yaris Cup CAR」(車両型式:MXPA10-VPNTFN/MXPA10-VPNTXN)とし、
「TOYOTA GAZOO Racing Yaris Cup 2022」規定に準じた車両。(CVT 車両は除く)

※クラス分けの詳細については、本特別規則書第 9 条“参加車両”の表も参照すること。

～2)タイヤに関する規定

使用が許されるタイヤは、タイヤ製造者が発表した日本国内向け市販タイヤ製品カタログに記載表記され、通常販売されているラジアルタイヤとする。

◆タイヤサイズについて

※競技専用タイヤの使用は禁止される。

※当該車両型式のカタログ、仕様書等に記載されているサイズを最大とする。

なお、⑥Yarisクラスについては「TOYOTA GAZOO Racing Yaris Cup 2022」規定に準ずる。

～3)重量に関する規定

車両の最低重量は、原則として下記のとおりとする。

2022JAF国内競技車両規則第5章4.3)に順じ、当該車両製造者発行カタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に設定されている車両重量の内、最小値までとする。

※上記重量は、出走可能な状態でドライバーを除く車両の重量である。

～4) 排気音量の検査方法は、2022年JAF 国内競技車両規則付則「競技車両の排気音量測定に関する指要項」に従って行われ、排気口と測定器の間は3mとする。

●排気音量

①ALL Otherクラス 国土交通省が定める初度登録年度の保安基準に合致すること。

②Vitz クラス 「TOYOTAGAZOO Racing Netz Cup Vitz Race 2020」規定に準拠。

③86BRZ クラス 「TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race 2021」規定に準拠。

④ロードスタークラス 「ロードスターパーティレースⅢ」規定に準拠。

⑤Lotus クラス「LOTUS CUP JAPAN 2022 Technical Regulation」に準拠。

⑥Yaris クラス 「TOYOTA GAZOO Racing Yaris Cup 2022」規定に準拠。

～5) 燃料給油口は、通常のガソリンスタンドのポンプから燃料補給できる形状になっていると。

以上